

1. 17 年 9 月期決算の概況

(1) 三井住友銀行（図表 1-1）

〔業務粗利益・経費〕

17 年 9 月期の業務粗利益は、前年同期比 39 億円増益の 7,666 億円と、1 兆 5,450 億円の年間計画対比 50%の進捗率となりました。経費につきましては、2,924 億円と、5,950 億円の年間計画対比 49%の進捗率となりました。

〔業務純益〕

以上の結果、一般貸倒引当金繰入前の業務純益は 4,742 億円となり、9,500 億円の年間計画対比 50%の進捗率となりました。

〔臨時損益その他・経常利益〕

臨時損益に計上される不良債権処理損失額につきましては、1,540 億円となりました。なお、一般貸倒引当金はネットで戻し入れとなったことから、戻入益 243 億円を計上しており、不良債権処理損失額と一般貸倒引当金の戻入益を合計した与信関係費用は、1,297 億円となりました。

また、株式等関係損益につきましては、堅調な株式相場環境の下、売却益を計上したことにより、250 億円の利益となりました。

以上の結果、経常利益は 3,598 億円と、6,100 億円の年間計画対比 59%の進捗率となりました。

〔特別損益・当期利益〕

特別損益は、動不動産処分損により 47 億円の損失となりました。

法人税、住民税及び事業税ならびに法人税等調整額の合計は、計画においては保守的に見込んでおりましたが、実績は 564 億円となりました。

以上の結果、当期中間純利益は 2,987 億円と、3,500 億円の年間計画対比 85%の進捗率となりました。

(2) 三井住友フィナンシャルグループ (図表 1-2)

17 年 9 月期連結決算は、連結経常利益が 4,638 億円となりました。連結中間純利益は 3,923 億円と、4,600 億円の当初年間見込み対比、85%の進捗率となりました。これは、主として三井住友銀行の当期中間純利益が、年間計画対比 85%の進捗率となったことによるものであります。

また、17 年 9 月末の連結自己資本比率は、11.00%となりました(図表 2)。

(3) 剰余金の推移

以上の結果、17 年 9 月期における三井住友フィナンシャルグループ及びその子会社（三井住友銀行、三井住友カード、三井住友銀リース、日本総合研究所）合算の剰余金につきましては、2 兆 2,557 億円となりました。

＜剰余金の積み上がり状況＞

(億円)

	17/3 月期 実績	17/9 月期 実績	18/3 月期 計画
期末合算剰余金(注)	16,488	22,557	23,472
その他資本剰余金	8,985	12,020	12,293

(注) 三井住友フィナンシャルグループ、三井住友銀行、三井住友カード、三井住友銀リース、日本総合研究所の剰余金合計（三井住友カードは持分勘案後）

(4) 18 年 3 月期決算見込み

三井住友銀行におきましては、18 年 3 月期決算見込みは、業務純益(一般貸倒引当金繰入前)9,500 億円、当期純利益 4,300 億円を見込んでおります。また、三井住友フィナンシャルグループ(連結)といたしましても、連結経常利益 8,500 億円、同当期純利益 5,500 億円を見込んでおります。